

健康達人講座の参加者募集

加西市医師会の医師等を講師に迎え、健康について学びます。

対象：加西市民 50 名程度（先着順）。希望するテーマだけの参加も可能です。

日時・内容：受付 13:15～13:30 講演 13:30～14:30



| 月日 | 講演テーマ |
|-----------|--------------------------------------|
| 5月14日(木) | メタボリックシンドロームについて |
| 6月4日(木) | たばこ禁煙～たばこの害、最新の禁煙情報 |
| 6月19日(金) | 肥満について～肥満は万病のもと |
| 7月2日(木) | がんについて～胃・大腸・乳がんを中心に |
| 8月28日(金) | 運動器(骨・筋肉・関節等)の障害について～腰痛・肩こり・骨粗しょう症など |
| 9月7日(月) | 健診結果の見方～健診結果を上手に活用 |
| 11月20日(金) | 食事バランスとこころの健康について |
| 12月4日(金) | 家庭でできる感染症予防～インフルエンザ、ノロウイルス |
| 1月7日(木) | 健診結果の見方～健診結果を上手に活用 |
| 1月21日(木) | 気になる泌尿器の症状～頻尿、前立腺肥大症、前立腺がんなど |
| 2月4日(木) | 頭痛について～慢性的な頭痛、他の病気を原因とする頭痛 |

場所：健康福祉会館

参加費：無料

申込方法：4月20日(月)より受付開始。国保健康課(☎④8723)までお申込みください。

加西病院のコーナー

加西病院WEBサイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『加西病院の“全適”に向けて』

『病院の全適』と聞いて、すぐ意味の分かる方は少ないと思います。“全適”は一種の業界用語で、正しくは“地方公営企業法の全部適用”と言います。難しい響きですが、“地方公営企業”とは病院・鉄道など市の公営事業を指し、“全部”は“一部”の裏返しです。つまり、加西病院はこれまで自治体病院の運営に関わる法律の一部(財務に関する規定)だけが適用されてきましたが、“全適”になることによって組織や人事の規定も適用されます。

昨年の『加西病院のあり方検討会』で全適の方針が市長に答申されました。一部適用では責任の所在が不明確で、病院運営に必要な人事や組織改革が迅速・柔軟に行えないこと、医療制度や人材確保の面で厳しい環境に置かれた自治体病院にとって迅速性を欠いた体制では生き残っていけないことが主な理由でした。

全適になりますと財務・組織・人事という病院運営に必要な権限と責任を持つ“病院事業管理者”が任命されます。今のところ山邊(現病院長)の就任が予定されています。事業管理者には任期が有り、病院運営がうまく行かず、経営が立ち行かなくなれば罷免されます。割とドライですが、逆に言えば責任の所在が明確です。全適化には条例が市議会で承認される手続きが必要です。

今、我が国の地域医療は自治体病院の勤務医不足や赤字が引き金となって崩壊が進みつつあります。加西病院にとっては北播磨医療センター構想や県立新加古川病院の開設など経営環境の厳しさが増しつつあります。またDPCという、地方の病院にとって不利な診療報酬制度が始まりました。このような厳しい医療環境の中、職員の士気を高め、医療を向上させ、市民患者に信頼される病院として発展してゆくために、全適は一里塚となる改革です。市民の方々の理解を願う次第です。

(病院長)



ニューフェイス

加西病院は今年、43名の新規職員を迎えました。自治体病院の多くが医師や看護師不足で苦戦するなか、医療の向上にとって大きなエネルギーです。医療は人の力が全てであり、良い人材を育てることが良い医療に繋がります。良い医療者を育てるには、病院ばかりでなく患者市民の皆さんの助けが大きな力になります。ご理解ご支援ください。

人間ドック等助成券発行のお知らせ

加西市では平成4年度より、国保に加入している方の人間ドック等の受診費用を助成しています。さらに平成21年度からは、助成券を発行し、受診時の窓口負担の軽減をはかります。(ただし、市立加西病院の人間ドック等に限りません。)年に1度は、からだの定期点検を!

助成券の対象となる人間ドック等と助成額

| 助成対象 | 助成額 |
|------------|----------------------|
| 日帰り人間ドック | 7割相当額(但し、28,000円が上限) |
| 1泊2日人間ドック | 7割相当額(但し、46,000円が上限) |
| 脳ドック | 7割相当額(但し、35,000円が上限) |
| レディース検診(※) | 7割相当額(6,250円を助成) |



すべて市立加西病院で受診するものに限りません。

※市立加西病院において受診する乳がん及び子宮がんのセット検診のみが助成対象。対象は40歳以上の女性で2年に1回に限りません。

助成券の請求方法

- ①市立加西病院へ人間ドック等の予約をしていただきます。
- ②問診票などが到着後、国保医療係へお越しください。助成券発行の手続きをおこないます。
- ③即日、助成券をお渡ししますので受診のときは、忘れずにお持ちください

助成金の請求方法

市立加西病院以外で受けた人間ドック及び脳ドックは、従来どおりの助成を行います。受診後、次のものをもって国保医療係までお越しください。

申請に必要なもの：領収書、保険証、印鑑、預金通帳など口座番号のわかるもの、受診結果の資料(人間ドックのみ)
注) この助成は国民健康保険税の滞納のない方に行っています。人間ドック受診費用の助成申請をされる場合、特定健診を重複して受けることはできません。また、人間ドックの結果データについては、特定健診・特定保健指導のデータとして活用しますので、提出いただくことになります。ご了承ください。

【問合せ先】 国保健康課 ☎④8723

妊婦健康診査助成事業を拡充

4月1日より、病院等で受診する妊婦健康診査の費用を一部負担する妊婦健康診査助成事業が改正されました。

妊婦健康診査は、母子の健康を守る上で非常に大切な健診です。必ず受けるようにしましょう。

改正点

| 旧制度(21年3月31日まで) | 新制度(21年4月1日以降対象) |
|-----------------|------------------|
| 27,000円/6回分 | 62,000円/14回分 |

申請手続き

- ・助成の申請は母子健康手帳交付時にしていただけます。印鑑・市内住民であることが確認できる書類(免許証等)を持参の上、申請してください。
- ・旧制度での受診券をお持ちの方は、交換の必要がありますので、旧受診券を持参の上、お越しください。
- ・旧制度での受診券を全て使用した方で、4月1日以降妊婦健康診査の受診予定がある方は、追加で新制度との差額分の受診券を発行しますので、お越しください。

【問合せ先】 国保健康課 ☎④8723

ポリオ予防接種を受けましょう

ポリオ(急性灰白髄炎)はポリオウイルスによる感染症で、感染すると手足の運動麻痺による後遺症を残すことがある病気です。下記対象者は、ポリオ予防接種を受け予防に努めましょう。

対象者：生後3か月～90か月(7歳半)未満の児

接種回数：41日(6週間)以上の間隔をあけて2回接種

接種日：

| | |
|-----------------|----------|
| 九会・在田・西在田・多加野地区 | 4月30日(木) |
| 富田・賀茂・下里・富合地区 | 5月11日(月) |
| 北条地区 | 5月18日(月) |
| 未接種児 | 5月28日(木) |

受付時間：13:00～13:45

接種場所：健康増進センター

必要物品：母子健康手帳・予診票(ペンで記入)・体温計
※接種者が1日に集中しないよう地区をわけていますが、児の体調に合わせて都合のよい日にお越しください。

【問合せ先】 国保健康課 ☎④8723